

保育コンシェルジュ便り

戸田市保育幼稚園課発行 第14号 2021. 9月

戸田市では、保育サービスの一環として平成31年4月から“保育コンシェルジュ”を配置し、子育てに関する様々な悩みや困りごと等に対し、保育士の専門性を活かした相談や保育情報の発信を行っております。また、直接保育の現場で働く方々からの相談等も随時お受けしております。

電話や来庁による相談を行っておりますので、市役所保育幼稚園課まで、お気軽にお問い合わせください。(直通電話 048-443-5611)

戸田市の認可 保育施設情報

戸田市には私立幼稚園10園、認可保育園として公立保育園7園・私立保育園(所)37園・小規模保育施設(事業所内施設含む)13園、他戸田市に届け出がなされている認可外保育施設13園(令和3年9月現在)があります。

入所希望園については、できるだけ施設見学をしてから決めることをお勧めしていますが、コロナ禍の中で見学できない場合もありますので、各保育園等に直接お問い合わせください。また、戸田市及び各保育園等のホームページ等をご覧ください。

公立保育園 (7園)

- ・0歳児から5歳児(就学前)までの施設です。
※1歳児から受け入れの、施設もあります。
- ・保育理念・基本方針・保育目標等は7園統一です。その他、園独自に行事等に取り組んでいます。
- ・保育料以外に若干の実費徴収がある場合があります。
※3歳児クラスからは保育料無償化の対象ですが、**主食費+副食費**はご負担いただきます。
※保護者会があります。(会費徴収あり)



私立保育園 (37園)

- ・0歳児から5歳児(就学前)までの施設です。
※1歳児からの受け入れと、0歳児から2歳児までの施設もあります。
- ・保育理念・保育方針等については、各園独自性を持って運営しています。
- ・保育料以外に実費徴収等がかかる場合があります。
※3歳児クラスからは保育料無償化の対象ですが、**主食費+副食費**はご負担いただきます。
※保護者会の有無は各施設異なります。



小規模保育施設 (11施設)

- ・0歳児から2歳児までの施設で、定員が19名以下の施設です。
- ・保育内容等は各施設独自で取り組み、家庭的な保育の充実を図っている。
- ・保育料は、市が決定した金額を直接施設へ支払います。他、実費徴収等があります。
- ・設置基準により、保育資格の有資格者数が異なりますが、現在は、11施設全てA型:保育従事者は全員有資格者となっております。(参考:B型は保育従事者の半数が有資格者、半数が子育て支援員等となります。)

事業所内保育施設 (2施設)

- ・0歳児から2歳児までの施設で、定員が19名以下の施設です。
- ・企業が設置する施設で、従業員の児童と併せて地域の児童を一定数預かる保育施設です。A型・B型があります。
※その他、小規模保育施設に準じて運営しています。

- ・給食の提供方法について(原則自園調理)
- ・実費徴収について
- ・延長保育の時間や料金について
- ※詳細は各施設にご確認ください。



教えて、保育コンシェルジュ！

は〜い！なんでもお尋ねください。
参考にして頂ければ、嬉しいです。



子どもが生まれてとてもうれしいのですが、日中ひとりで子育てをしていると子どもの成長とともに不安や心配事等、様々な壁にぶつかって疲れてしまいます。
特に相談できる人もいません。どうしたら、もっと楽しく子育てができるのかアドバイスしてください。



一昔前に比べると、“夫婦だけで子育てをする家庭”が多くなり、その分父親に期待される役割も大きくなっているようです。父親としては自身が子どもの頃と比べ、休日等で子育てに関わる時間が増えていると感じている方も多いようですが、その一方で実際にはもっと父親に育児参加を望む母親が多く、夫婦の意識にずれがあるといったこともあるようです。「もっと子どもの面倒を見て欲しい」「もっと家事を手伝って欲しい」等、特に共働き家庭においては日頃母親の負担も大きく、疲れやストレスを感じることも多いです。互いの置かれる環境を考慮しつつ、子育てはご夫婦でしっかり話し合いの機会を持ち、思いを伝え合うことが大切です。何よりも我慢は禁物です。



夫が忙しく、周りに相談する方もおらず、一人で子育てしているような気がして、とても辛いです。



毎日子育てをしていると、疲れやストレスを感じることも多いですね。そのようなときは保育所等の一時預かりやファミリーサポート、子育て広場等を利用するのも良いでしょう。また、ぜひ「保育コンシェルジュ」をご活用ください。予約を入れて頂ければゆっくりお話が伺えます。

同年齢の子どもと比べて、発達が遅いのではないかと感じてしまうことが多く、親として関わり方が悪いのかと不安に感じてしまいます。

子どもの発達は一人ひとり違います。特に乳児期・幼児期は個人差が大きく、時に“〇〇ができた”“うちの子はまだ〇〇ができない”などと一喜一憂することが多いかと思いますが、どの子も発達の階段は一步步確実に成長します。心配な時は、通園している園の先生や福祉保健センター・かかりつけ医等に相談してみるのも良いでしょう。

第2子が生まれ、初めはとても可愛がってくれていた上の子が、次第に赤ちゃん返りを始めました。どう接したらいいのかわからなくなりました。



赤ちゃんが寝ている時間が長い時期は特に感じなかった思いが、次第に母親を独占されているように感じてしまい、上のお子さんなりに葛藤を抱えはじめるのでしょう。上の子・下の子という考え方ではなく平等に扱い、可能な限り甘えを受け止め、認めたり褒めたりすることが大きな自信につながります。下の子のお世話を一緒にし、「ありがとう、ママ助かったわ」等の会話が大切です。

子どもが成長するに従い、いたずらも盛んになってきました。時々目に余るようなこともします。子どもの叱り方に悩んでいます。



子育てで一番大切なことは、子どもの“自己肯定感”を育むことです。いたずらをした時には、一呼吸おいてなぜそのような行動をとったのか、冷静に判断したいものです。しかし、大きなけがや生命にかかわるような事態が生じた場合は、その限りではありません。怒ると叱る、感情に大きな違いがあります。子どもの目線で、短い言葉で丁寧に伝えましょう。